

胸を張れる自分になるために

校長 二瓶 亮

空の青さが濃くなる7月に入りました。関東地方はすでに梅雨明けしており、猛暑日がつづく中で吹中生は1学期の終わりに向けてやり残しが無いよう、学習に部活動にとそれぞれ頑張っています。

さて、先月15日（水）から17日（金）にかけて学校総合体育大会班大会が行われました。運動部の3年生にとっては最後の公式大会（中体連）となり、どの部も目標を高く掲げ、全力で競技する姿が各会場で見られました。勝ち進んで県大会にコマを進めた部、残念ながら敗退し、涙を流した部、それぞれありました。勝負なので勝ち負けは付きませんが、最後まで全力で競技する姿は輝いており、吹上中学校の誇りです。先日の全校朝会では、生徒に次のように話しました。今年の3年生は特に入学したときからずっとコロナ禍でした。苦しかった……そんな言葉では済まされないくらい、みんな大変だったと思います。クラスでも部活動でも、同じ目標に向かって互いに切磋琢磨し、楽しいことも、つらいこともみんなで乗り越える経験を通してしか学べないチャンスを奪われてしまった世代でもありました。

しかし、見方を変えると、これまでの3年間で、人と接するこの重要性を特に感じていると思います。普通に人と話したり、わいわいしたりすることがいかに大切か。人と協力することがいかに大切か。もしかすると、人生にとってすごく貴重な3年間だったかもしれなません。

そんな3年生の大会にかける意気込み、競技中の姿を見た1、2年生はその気持ちを受け継ぎ、先輩の成績を超えることを目標としてスタートを切っている部活動もあります。3年生に限らず、吹中生には1日1日を大切に、自分で決めた目標に粘り強く「やりきる」姿勢で取り組んで欲しいと思います。保護者の皆様にはこれまで支えていただいたことに対して、改めて感謝申し上げるとともに、これからも粘り強く努力する子ども達を支え、応援していただくことをお願いいたします。

冒頭でも触れましたが、今年は6月中に梅雨が明け、各地で猛暑日を記録しています。吹上中学校では、厚生労働省から出されたコロナ禍に必要な熱中症予防行動についてのリーフレットの内容をもとに、生徒たちには、次のように話しました。

- 1 学校(校舎)内では原則マスクを着用する
- 2 体育の授業や部活動ではマスクを外す(ただし強制ではありません)
- 3 登下校中はマスクを外してよい(ただし強制ではありません)

※2および3については

- ①外した際、会話を控えること
- ②人と人との間隔が2メートル程度離れていること

上記の2点を条件として判断するよう話しています。



鴻巣市の新型コロナウイルス新規感染者数は減少していますが、病院の受診者数（発熱）は減っていないという情報もあります。引き続き、感染予防対策を徹底しながら、熱中症のリスクを減らして、生徒の可能性を伸ばす教育活動を展開していきます。保護者、地域の皆様には、御理解、御協力をお願いします。